

それ以来、30年ぶりに日本人の3人目のRI会長が誕生されました。
2012～13年度RI会長 田中作治様でございます。
“奉仕を通じて平和を”というテーマを掲げ“世界的規模でロータリーの発展に尽力された方でございます”

世界200ヶ国余に、34,000クラブを擁し、120万会員で組織されるロータリークラブ。最高指導者だった田中作治様をお招きできたのは、幸運という他ありません。講演のテーマは「世界のロータリアン」ということに決定しました。

ゲスト・スピーカーの田中様と皆さん方が、親しく交流できる場も設けて、楽しいIMにしようと思いを絞っています。

皆さんには、大いに期待して頂き、奮ってご出席いただきたいと思います。

今日の、ガバナー補佐クラブ訪問例会及びクラブ協議を通じて、貴クラブの活動実態などについて、できるだけ客観的に詳細に報告させて頂き、ガバナー公式訪問の成功に繋がりたいと思います。

どうぞ宜しくお願いします。

<お知らせ：ロータリー情報・職業分類委員会：長島正巳委員長>

「The object of Rotary」の日本語訳が「ロータリーの綱領」から「ロータリーの目的」に改定（2012.11）されたことを踏まえて、本日会員全員に「ロータリーの目的」を配付いたしました。差し替え等よろしくお願ひ致します。

<お知らせ：青少年奉仕委員会：大川高明副委員長>

来る10月18～19日に行われるライラの締め切りが今月の30日になっております。過去、興銀さんや、東漸寺さんの若い皆さんに参加いただいておりますが、今年もふるってご参加いただきます様、会員の職場の将来ある若者の参加を期待しております。参加希望者は、事務局までお申し出ください。

<クラブ協議会>

会員増強に関する8項目の議題について、グループにわかれ活発に意見交換をしたのち、代表者からの発表がなされた。

◆高崎信昭ガバナー補佐より講評を頂きました



国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 1・真実かどうか
 - 2・みんなに公平か
 - 3・好意と友情を深めるか
 - 4・みんなのためになるかどうか

第2028回 例会 2014年9月16日(火)

- 国際ロータリー会長 ゲイリーC.K.ホアン
- 第2790地区ガバナー 宇佐見 透
- 第12分区ガバナー補佐 高崎 信昭
- 松戸北ロータリークラブ会長 崎谷 延好
- 松戸北ロータリークラブ幹事 大川 隆永
- 例会日 - 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30)
- 例会場 - 松戸市八ヶ崎1-10-6 びわ亭
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

WEEKLY REPORT

<第2028回：例会プログラム>



12:30	点鐘 ロータリーソング斉唱 【♪我等の生業】	崎谷延好会長
12:33	お客様紹介	小澤盛明会長エレクト
12:35	会食	
13:00	例会再開 会長挨拶・報告 幹事報告	崎谷延好会長 大川隆永幹事
13:10	ガバナー補佐公式訪問	高崎信昭ガバナー補佐
13:25	委員会報告 ◆社会奉仕委員会 社会奉仕基金発表 ◆ニコニコ委員会 ニコニコ発表	
13:30	点鐘	崎谷延好会長
13:30	クラブ協議会	

<会長挨拶：崎谷延好会長>

皆さんこんにちは。本日は高崎ガバナー補佐の当クラブ2度目の訪問という事でいささか私も緊張しております。



先程の地震には驚きましたが、10秒ほどでほっといたしました。

震源地は茨城との事ですが、松戸は震度3、意外なことに上野、大塚は震度5と速報で知りました。地盤によって格差がでたようです。

ここで思い出されるのが3.11ですが近い将来関東にも必ず起きうるもので、それに備え、その時にはどこに集合、食糧、飲料水等今から何らかの対策を考えておきましょう。本日はこの例会の後、クラブ協議会もごございますので、会長挨拶は手短かにいたします。

<幹事報告：大川隆永幹事>

- ①先週の例会時にIMの会費をご集金させていただき有難うございました。皆様のご協力のお蔭で、期日内にIM実行委員会に送金する事が出来ました。
- ②4月29日にアパホテルにて行われました地区協議会の報告書が届いております。事務所に保管しておきますので、ご覧ください。



■米山梅吉 (UMEKICHI YONEYAMA) ■

1920年世界855番目のRC(東京RC)を創立し、日本に初めてロータリーを導入した。東京RCの初代会長に就任し、日本のロータリーの発展の基礎を築いてくれた偉大な人である。



■ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」 Service above self ■

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。

WEEKLY REPORT

<ガバナー補佐公式訪：高崎信昭ガバナー補佐>

今年度も、スタートして2か月半ほど経過しました。計画された事業も、具体的に動き出したところでしょうか…？

早速ですが、今日は“ガバナー補佐クラブ訪問例会及びクラブ協議”という、公式行事として訪問させて頂きました。

通常通り例会を実施して頂き、その後にクラブ協議会を開催して頂くことになっています。と言っても、特別のことをやって頂く必要は、全くございません。

普段通りの例会を実施して頂けば結構ですし、クラブ協議会もいつも通りやって頂ければ結構です。



貴クラブは、誕生以来42年という歴史と伝統を誇る、素晴らしいクラブでございます。会歴10年以上の会員が70%を占めるということが、安定性と成熟したクラブ運営に繋がっているのでしょうか。クラブ運営の安定性は、とても重要なことだと思います。

因みに申し上げますと、2790地区で会員数が30名以下のクラブが41クラブございます。率にして、48.8%、地区内の約半分のクラブが、会員数30名以下と言うのが現実です。率にして、2クラブございます。どんな例会が開かれているのでしょうか…？

このような厳しい状況の中で、常に40名前後の会員数を維持していることにも、改めて敬意を表します。

歴代会長はじめ、会員のみなさんのご努力の賜物ということが出来るでしょう。

さて、崎谷会長のご報告によりますと、貴クラブは“クラブ定款とクラブ細則に則り、ロータリーの原理・原則に忠実なクラブ”であると承っています。また、“会歴の長い会員と若手会員が、親睦の機会を沢山持つことによって相互理解を図り、積極的に社会奉仕活動に取り組んでいる”とのことでございます。

社会奉仕活動として継承されている“東日本大震災による遺児・孤児への経済的支援活動・養護学級生を招いての芋ほり大会”等は、貴クラブの主要事業として、近隣クラブにも名が轟いています。

来月に迫ったIM開催について、少しお話をさせていただきます。すでにご案内の様に、10月16日(木)「ザ・クレストホテル柏」で開催されることが決定しています。ゲスト・スピーカーとして、2012~13年RI会長 田中作治様をお招きして、基調講演とトークショーを実現する運びとなっております。

RI会長について、少し触れさせていただきますが、100余年の歴史の中で、日本人でRI会長に就任された方が3人いらっしゃいます。

日本人で初めて「RI会長」に就任されたのは、1968~69年度会長 東ヶ崎 潔様(トウガサキ・キヨシ)という方で、東京RCに所属されておりました。

アメリカで生まれ、当時の深刻化する大不況の中で帰国され、東京に移住する。豊かな英語力と米国とのコネクションで「世界教育者会議日本事務局長」とか「ニューヨーク万国博コミッショナー」等を歴任され、日本と米国の懸け橋として、大きな功績を残された方だそうです。

お二人目が、1982~83年度会長 向笠廣次様(ムカサ・コウジ)です。大分県中津RCのメンバーで、国際的に著名な精神科のドクターだそうです。

“国籍・肌の色・言語・宗教などの区別には関心がない。あるのは、頭脳の機能による性格の分類だけ”として、世界理解と平和に尽力された方の様です。(次ページへ)